

# 三鷹市 介護人材の確保・定着等に関するアンケート調査 - 事業所調査票 -

令和4年10月 三鷹市

## 《ご記入にあたってのお願い》

1. 管理者様など事業所の状況をよくご存じの方が、ご記入ください。
2. 同一敷地内で複数の介護保険サービス事業を行っている場合は、それら全てを合わせて1つの事業所として回答してください。
3. ご回答は、鉛筆又は黒や青のボールペンやペンで、この調査票に直接ご記入ください。
4. 各設問の説明に従って、あてはまる番号に○印をつけるか、具体的な内容・数字などをご記入ください。回答に迷う場合は、できるだけ近いものを選ぶようにしてください。

## ◆◆◆ 三鷹市へのご意見・ご要望等について伺います。 ◆◆◆

三鷹市では介護人材確保・定着・育成のため次の事業を行っています。

事業名	概要
①介護職員初任者研修費補助事業	1人当たり70,000円を上限に、介護職員初任者研修課程の受講料を補助します。(三鷹市介護保険事業者連絡協議会)に加入する市内事業所の常勤職員(勤務時間数の要件を満たす非常勤職員含む。)又はみかかふれあい支援員が対象です。
②介護福祉士実務者研修費補助事業	1人当たり100,000円を上限に、介護福祉士実務者研修の受講料を補助します。(三鷹市介護保険事業者連絡協議会)に加入する市内事業所の常勤職員(勤務時間数の要件を満たす非常勤職員含む。)又はみかかふれあい支援員が対象です。
③介護福祉士資格取得費補助事業	1人当たり100,000円を上限に、介護福祉士資格の取得のために要した経費を補助します。(三鷹市介護保険事業者連絡協議会)に加入する市内事業所の常勤職員(勤務時間数の要件を満たす非常勤職員含む。)が対象です。
④職員表彰事業	三鷹市介護保険事業者連絡協議会に加入する市内事業所に、通算して5年、10年、20年勤務した介護職員で、事業所より推薦をされた方を表彰します。
⑤夏休み介護施設体験事業	市内在住・在学の小学4年生から6年生までの希望者を対象に、夏休みに介護施設(介護老人福祉施設、介護老人保健施設、認知症高齢者グループホーム)で1日(2時間程度)、介護の仕事を経験してもらいます。修了した児童には、「子ども介護士証」と記念品を差し上げます。
⑥保育園優先入所	保育園の入所選考の際、市内事業所の介護職員は、同一選考点数世帯間の優先順位として選考します。
⑦介護職員向け研修事業	市内の事業所の職員を対象に、管理者向けマネジメント力向上研修、中堅職員向けリーダー研修、若手職員向け交流・研修会、外国人職員向け交流・日本語能力向上研修を行っています。
⑧介護ロボット等導入支援事業	介護ロボット等の導入に係る経費を補助します。(三鷹市介護保険事業者連絡協議会)に加入する市内事業所が対象です。

問1 介護人材の確保・定着・育成のためのこれらの事業をご存知でしたか。貴事業所の介護人材確保・定着・育成に役に立つかと思いますか。また、「3 あまり役に立たない」「4 まったく役に立たない」を選択された方はその理由は何ですか

事業名	当該事業をご存知ですか (○は1つ)	介護人材の確保定着育成に役に立つか (○は1つ)	役に立たない理由は何ですか (○はいくつでも)
①介護職員初任者研修費補助事業	1. 知っていた 2. 知らなかった	1. 非常に役に立つ 2. 多少役に立つ 3. あまり役に立たない 4. まったく役に立たない	1. 対象者の範囲が狭い 2. 要件を満たさない職員が多い 3. 資格があっても定着しない 4. 対象外の事業所である 5. その他 ( )
②介護福祉士実務者研修費補助事業	1. 知っていた 2. 知らなかった	1. 非常に役に立つ 2. 多少役に立つ 3. あまり役に立たない 4. まったく役に立たない	1. 対象者の範囲が狭い 2. 要件を満たさない職員が多い 3. 資格があっても定着しない 4. 対象外の事業所である 5. その他 ( )
③介護福祉士資格取得費補助事業	1. 知っていた 2. 知らなかった	1. 非常に役に立つ 2. 多少役に立つ 3. あまり役に立たない 4. まったく役に立たない	1. 対象者の範囲が狭い 2. 要件を満たさない職員が多い 3. 資格があっても定着しない 4. 対象外の事業所である 5. その他 ( )
④職員表彰事業	1. 知っていた 2. 知らなかった	1. 非常に役に立つ 2. 多少役に立つ 3. あまり役に立たない 4. まったく役に立たない	1. 内容がよくわからない 2. 対象者の範囲が狭い 3. 表彰があっても定着しない 4. 対象外の事業所である 5. その他 ( )
⑤夏休み介護施設体験事業	1. 知っていた 2. 知らなかった	1. 非常に役に立つ 2. 多少役に立つ 3. あまり役に立たない 4. まったく役に立たない	1. 内容がよくわからない 2. すぐには効果がわからない 3. 対象施設の範囲が狭い 4. その他 ( )
⑥保育園優先入所	1. 知っていた 2. 知らなかった	1. 非常に役に立つ 2. 多少役に立つ 3. あまり役に立たない 4. まったく役に立たない	1. 保育園児の親がいない 2. 制度があっても定着しない 3. 対象外の事業所である 4. その他 ( )
⑦介護職員向け研修事業	1. 知っていた 2. 知らなかった	1. 非常に役に立つ 2. 多少役に立つ 3. あまり役に立たない 4. まったく役に立たない	1. 内容がよくわからない 2. 研修があっても定着しない 3. 受けさせたい研修がない 4. その他 ( )
⑧介護ロボット等導入支援事業	1. 知っていた 2. 知らなかった	1. 非常に役に立つ 2. 多少役に立つ 3. あまり役に立たない 4. まったく役に立たない	1. 内容がよくわからない 2. 補助金額が少ない 3. 活用したいロボット等がない 4. 活用方法がよくわからない 5. その他 ( )

問2 介護人材の確保・定着・育成のために、三鷹市に取り組みで欲しいことは何ですか。  
(あてはまる番号全てに○)

1	三鷹市の介護事業所のPR、三鷹市が実施する介護職支援の事業のPR
2	若年者(小学生～大学生等)への介護に関する仕事の啓発・PR
3	介護を知るための体験型イベント等の開催
4	養成機関の在校生に対する奨学金の支給(市内事業所で一定期間就労後は返還免除)
5	無料職業紹介、マッチング支援、就職相談会等の開催
6	潜在(現在働いていない)有資格者の人材登録、マッチング支援
7	中高年齢者等の介護未経験者に対する入門的研修の実施、マッチング支援
8	外国人介護人材の受け入れ環境整備の支援
9	職員の悩み相談、心身の健康相談の支援
10	職員の育児と仕事の両立支援(保育園への優先入園等)
11	職員の家賃補助
12	福利厚生への助成
13	ボランティアの活用に関する相談・助言、ボランティアの育成・派遣
14	介護ロボット・ITの介護施設・事業所への導入支援
15	資格取得時の費用負担の充実(介護職員初任者研修、介護福祉士実務者研修、介護福祉士以外にも拡大)
16	知識やスキル向上のための研修や講習会の開催
17	事業者が独自に行う研修への補助
18	優良事業所の表彰・公表
19	採用、定着、育成に役立つ情報提供・相談・助言
20	その他(以下に具体的に記入してください。)

◆◆◆ 貴事業所の現状や課題について伺います。 ◆◆◆

問3 貴事業所(1施設・事業所当たり)の月間介護料収入(直近の請求ベース、概算)は次のどれに該当しますか。(○は1つ)

1	100万円未満	5	1,000万円～2,000万円未満
2	100万円～200万円未満	6	2,000万円～3,000万円未満
3	200万円～500万円未満	7	3,000万円～5,000万円未満
4	500万円～1,000万円未満	8	5,000万円以上

問4 貴事業所で、介護保険の指定介護サービス事業に従事する職員は何人ですか。  
下記の表の空欄に、該当する職種の人数を記入してください。(令和4年9月30日現在)

※ 常勤労働者換算ではなく、在籍者数です。派遣労働者や委託業務従事者は含みません。  
※ 該当者がいない欄は、0(ゼロ)を記入してください。

(注1) 資格ではなく、従事している仕事(職種)に着目して記入してください。  
兼務している職員については、主として従事する仕事(職種)についてのみ記入してください。  
(注2) この調査では、正規職員とは、労働時間数にかかわらず雇用期間の定めがない者となります。  
非正規職員とは、期限の定めのある有期雇用契約による職員とします。  
(注3) ここでいう介護職員とは、介護保険の訪問介護以外の指定介護事業所で働き、直接介護を行う者となります。賃金の支払いを受けている方に限ります。(ボランティアは含みません。)  
(注4) PT・OT・ST等=PT(理学療法士)、OT(作業療法士)、ST(言語聴覚士)等の機能訓練指導員

職種別 (下記の職種のみ) (注1)	正規職員(注2)		非正規職員(注2)		合計	
	64歳以下	65歳以上	64歳以下	65歳以上	64歳以下	65歳以上
1 訪問介護員	人	人	人	人	人	人
2 サービス提供責任者	人	人	人	人	人	人
3 介護職員(注3)	人	人	人	人	人	人
4 看護職員	人	人	人	人	人	人
5 生活相談員	人	人	人	人	人	人
6 PT・OT・ST等(注4)	人	人	人	人	人	人
7 介護支援専門員	人	人	人	人	人	人
合計(1～7)	人	人	人	人	人	人

問5 貴事業所が属する法人全体(全ての指定介護サービス事業所)の全従業員数は、おおよそ何人くらいですか。(派遣労働者、委託従事者は含みません。)(○は1つ)

1	19人以下	4	100～299人
2	20～49人	5	300～499人
3	50～99人	6	500人以上

問8 貴事業所では、過去3年間の職員の採用において、どのような手段・媒体を利用しましたか。  
(あてはまる番号全てに○)

1	ハローワーク	7	民間機関による職業紹介
2	福祉人材センター(社会福祉協議会)	8	職員、知人からの紹介
3	学校、養成機関からの紹介	9	ホームヘルパー等養成講座修了者を勧誘
4	求人・就職情報誌、求人情報サイト	10	自社のホームページ
5	折込チラシ、新聞・雑誌の広告	11	SNS (Facebook、LINE など)
6	就職セミナー (就職説明会)	12	その他 ( )

問9 職員の採用に最も効果があった手段・媒体は、どれですか。問8の中から1つ選び、番号を記入してください。

最も効果があった手段・媒体

問10 貴事業所では職員の採用のために行ったこととはないが、活用したい手段・媒体は何ですか。  
(○は1つ)

1	ハローワーク	7	民間機関による職業紹介
2	福祉人材センター(社会福祉協議会)	8	職員、知人からの紹介
3	学校、養成機関からの紹介	9	ホームヘルパー等養成講座修了者を勧誘
4	求人・就職情報誌、求人情報サイト	10	自社のホームページ
5	折込チラシ、新聞・雑誌の広告	11	SNS (Facebook、LINE など)
6	就職セミナー (就職説明会)	12	その他 ( )

問11 問10で選択した手段・媒体を行ったことのない理由は次のどれですか。

(あてはまる番号全てに○)

1	効果が明確でない	4	やりかたがわからない
2	かかる費用が高い	5	活用できる機会が少ない
3	手間がかかる	6	その他 ( )

問6は、訪問介護員と介護職員について伺います。  
これらの職種を雇用していない事業所は、問7へお進みください。

問6 ①貴事業所の介護保険の指定介護サービス事業に従事する「訪問介護員」と「介護職員」について、過去1年間(令和3年10月1日～令和4年9月30日)の採用者数と離職者数をそれぞれ記入してください。

②離職者については、勤続年数別の人数もご記入ください。  
※ 離職者とは、調査対象期間中に事業所を退職したり、解雇された者をいい、他企業への出向者、出向復帰者を含みますが、同一企業内での転出入者は除きます。

※ 該当者がいない欄は、0(ゼロ)を記入してください。

		①1年間(令和3年10月1日～令和4年9月30日)の採用者数と離職者数			②離職者の勤続年数別の人数		
		採用者数	離職者数		1年未満	1年以上3年未満	3年以上
訪問介護員 (サービス提供者は含みません。)	訪問介護員・計	人	人	人	人	人	人
	正規職員	人	人	人	人	人	人
	非正規職員	人	人	人	人	人	人
介護職員 (看護職員等は含みません。)	介護職員・計	人	人	人	人	人	人
	正規職員	人	人	人	人	人	人
	非正規職員	人	人	人	人	人	人

ここからは全員お答えください。

問7 貴事業所では、従業員の職種別過不足の状況はどうですか。(それぞれの職種で○は1つずつ)

	大いに不足	不足	やや不足	適当	過剰	当該職種は少ない
1 訪問介護員	1	2	3	4	5	6
2 サービス提供者	1	2	3	4	5	6
3 介護職員	1	2	3	4	5	6
4 看護職員	1	2	3	4	5	6
5 生活相談員	1	2	3	4	5	6
6 PT・OT・ST等	1	2	3	4	5	6
7 介護支援専門員	1	2	3	4	5	6
全体でみた場合 (上記1～7について)	1	2	3	4	5	6

問12 早期離職防止や定着促進に効果のあった方策はありますか。(あてはまる番号 **3 つまで**○)

1	残業を少なくする、有給休暇を取りやすくする等の労働条件の改善に取り組んでいる
2	本人の希望に応じた勤務体制にする等の労働条件の改善に取り組んでいる
3	賃金水準を向上させている
4	能力や仕事ぶりを評価し、賃金などの処遇に反映している
5	非正規職員から正規職員への転換の機会を設けている
6	新人の指導担当・アドバイザーを置いている
7	能力開発を充実させている(社内研修実施、社外講習等の受講・支援等)
8	悩み、不満、不安などの相談窓口を設けている(メンタルヘルス対策を含む)
9	職場内の仕事上のコミュニケーションの円滑化を図っている(意見交換会、チームケア等)
10	業務改善や効率化等による働きやすい職場作りを力を入れている
11	その他( )
12	特に方策はとっていない

問13 貴事業所では、人材育成のための取組に当たって、どのような方策をとっていますか。(あてはまる番号 **3 つまで**○)

1	教育・研修計画を立てている
2	教育・研修の責任者(兼任を含む)又は担当部署を決めている
3	採用時の教育・研修を充実させている
4	職員に後輩の育成経験を持たせている
5	能力の向上が認められた者は、配置や処遇に反映している
6	法人全体(関係会社を含む)で連携して育成に取り組んでいる
7	自治体や業界団体が主催する教育・研修に積極的に参加させている
8	地域の同業他社と協力、ノウハウを共有して育成に取り組んでいる
9	資格の取得などのために手当(補助)を出している
10	その他( )
11	特に方策はとっていない

問14 貴事業所で、サービスの質の向上のために力を入れている取組は何ですか。(あてはまる番号 **全て**○)

1	ケアカンファレンスの定期的な開催
2	職員・スタッフの継続的な研修・OJTの実施
3	事業者間での情報交換・交流への参加
4	利用者からの相談窓口の設置
5	サービス利用者の満足度調査の実施
6	サービス提供マニュアルの作成
7	介護相談員の受け入れ
8	情報開示、第三者評価
9	サービス自己評価基準による定期的な検証
10	その他( )
11	特に取組は行っていない

問15 貴事業所では、介護保険の指定介護サービス事業を運営する上での問題点は何か。(あてはまる番号 **3 つまで**○)

1	今の介護報酬では、人材の確保・定着のために十分な賃金を払えない
2	経営(収支)が苦しく、労働条件や労働環境改善をたくてもできない
3	良質な人材の確保が難しい
4	新規利用者の確保が難しい
5	介護従事者の介護業務に関する知識や技術が不足している
6	教育・研修の時間が十分に取れない
7	指定介護サービス提供に関する書類作成が煩雑で、時間に追われている
8	その他( )
9	特に問題はない

問16 貴事業所では、外国人介護人材の活用について、どのようにお考えですか。(○は1つ)

1	既に活用している	2	活用を検討している	3	活用の予定はない	4	分らない
---	----------	---	-----------	---	----------	---	------

問17 外国人労働者の活用の有無にかかわらず、全ての方にお伺いします。  
外国人労働者の活用について、どのような課題がありますか。(あてはまる番号全てに○)

1	日本人職員との会話等における意志疎通に支障がある
2	利用者等との会話等における意志疎通に支障がある
3	日本語文章力・読解力の不足等により、介護記録の作成に支障がある
4	生活、習慣等の違いにより、日常業務に支障がある
5	人件費以外にさまざまなコストがかかる
6	受入方法や活用方法がわからない
7	その他 ( )
8	特に課題はない

問18 介護の仕事のイメージアップのためには、どのような方策が必要だと考えていますか。(重要だと思うこと3つまで○)

1	賃金条件等基本的な事項の改善	6	職能団体としての組織化
2	保養施設など福利厚生改善	7	愛称的な名称の変更
3	職場の業務環境の改善	8	ケアコンテストなどの開催
4	能力に応じた賃金体系や昇進	9	小学生～高校生の体験学習
5	キャリアパスなど能力開発の機会確保	10	その他 ( )

問19 三鷹市では、「高齢者一人ひとりが生きがいを持ち、住み慣れた地域で、安心して年齢を重ねることができるよう、地域の住民や多様な主体が参画し、互いに支え合い、助け合い、頼りあえるまち」を高齢者計画・第八期介護保険事業計画の基本目標としています。この基本目標を実現するためには、どのようなことが必要だと思いますか。(あてはまる番号全てに○)

1	地域の支え合いのしくみづくり	6	地域の福祉団体等での就労機会の提供
2	地域の趣味やスポーツの会の情報提供	7	空き店舗等を活用した活動拠点の支援
3	地域のサロンや健康教室の情報提供	8	市の施設の夜間・休日の解放
4	PC教室や生涯学習の開催	9	その他 ( )
5	就労や軽作業の仲介・あっせん	10	特にない

問20 今後、高齢者や障がい者、子どもをはじめとするすべての市民が住み慣れた地域(住宅)での生活を続けるために、地域において特に必要だと思う生活支援(インフォーマルサービス)はどのようなものですか。(必要だと思うこと3つまで○)

※インフォーマルサービスとは、ここでは、公的機関や専門職による制度に基づくサービスや支援(フォーマルサービス)以外の支援をインフォーマルサービスと呼びます。具体的には、家族、近隣、友人、民生委員、ボランティア、非営利団体(NPO)などの制度に基づかない援助などが挙げられます。

1	日常的な掃除、洗濯、炊事等の家事	8	認知症予防の脳トレ
2	ごみ出し	9	健康体操や筋力維持の運動指導
3	食材や日用品等の買い物代行	10	サロンや地域カフェなど交流の場
4	草取りや水やり等の庭の手入れ	11	弁当や食材配達等の配食
5	声かけ、見守り等による安否確認	12	生活に関する相談・話し相手
6	移送ドライバー、通院等の外出支援	13	利用者家族等への助言、支援
7	市役所や銀行、郵便局への付き添い	14	その他 ( )

問21 貴事業所の地域との関わりについて、次のことを行っているか教えてください。

(行っている…1、今後行いたい…2、行う予定はない…3、各項目いずれかに○)  
※新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、一時的に休止している場合は、「行っていない」を選択してください。

	行っている	今後行いたい	行う予定はない
1. 利用者やその家族が利用者宅の近所にある通いの場や交流の場に参加できるよう支援している	1	2	3
2. 事業所が所在する地域の行事・イベント等に参加している(ブース出店など)	1	2	3
3. 事業所内に無料の相談窓口を開設している	1	2	3
4. 事業所内または近隣に地域交流スペースを設置して、地域住民に開放している	1	2	3
5. 地域の自治組織やまちづくり組織等に、スタッフや支援者として参加している	1	2	3

ご多用のところ、調査にご協力いただき、誠にありがとうございました。

その他、ご意見等ございましたら、ご記入ください。

お手数をおかけして申し訳ございませんが、回答漏れがないかご確認いただき、別添の返信用封筒に入れて **令和4年11月14日(月)までに** 投函していただきますよう、お願い申し上げます。